

TAD

TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC.

SPEAKER SYSTEM
Evolution One
TAD-E1AX



TAD-E1AX-K



TAD-E1AX-GW

TAD Evolution One AX 仕様

■正式型番／TAD-E1AX-K、TAD-E1AX-GW ■型式／3ウェイ位相反転式フロア型 ■ドライブユニット／●ウーファー:16 cmコーン型×2 ●ミッド/トウィーター:同軸9 cmコーン型/2.5 cmドーム型 ■パフォーマンスデータ／●再生周波数帯域:29 Hz～60 kHz(-10dB) ●クロスオーバー周波数:420 Hz、2.5 kHz ●最大入力:200 W ●出力音圧レベル:88 dB (2.83 V、1 m) ●定格インピーダンス:4 Ω ●ユニット極性:低域(+)、中域(+)、高域(+)

■その他／●質量:54 kg (1台) ●外形寸法:347 mm(W)×1146 mm(H)×518 mm(D) ■付属品／ウーファークリル×2、ショートケーブル×2、クリーニングクロス、スパイクコーン×3、スパイク受け×3、補助スパイク×2、滑り止めパッド×4、オーナーズマニュアル、保証書

⚠ 安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をお読みください。●水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障などの原因となることがあります。●地震などでの製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、設置に関しては取扱説明書に従って必ず行ってください。

*本機は重量がありますので、設置場所の床の強度が十分でない場合はあらかじめ補強工事が必要となる場合があります。

●カタログに掲載されている製品には保証書が添付されています。お買い求めの際は購入年月日など所定事項が記入されているかご確認の上、大切に保存してください。補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。●製造番号は品質管理上重要なものです。ご購入の際には製造番号をご確認ください。●外形寸法はソマリ、端子などを含んだ最大外形寸法です。

お客様サポート

<http://tad-labs.com/jp/support/>

カタログや取扱説明書のダウンロードなどの商品サポート情報のホームページです。

●このカタログに掲載の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。●写真の製品の色は、印刷により実際の色とは異なって見える場合があります。●ハガキによるカタログの請求は希望商品名をご記入の上、〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート バイオニアカスタマーサポートセンターへ、●ホームページにてもカタログの請求受付を行っております。本カタログに記載の価格には、配送費・据付費・使用後の商品引きとり代金などは含まれておりません。

株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ
〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 <http://tad-labs.com>
©TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC.

この印刷物には環境に配慮した用紙および植物性大豆油インキを使用しています。

このカタログの記載内容は2025年9月現在のものです。
ZDF017

TAD

Evolution Series

SPEAKER SYSTEM
Evolution One



美しき深化が、感性を揺さぶる。

ありのままの音を鮮やかに再現

自然な音の再現のためにTADが生み出した独創の「CST※ドライバ」を採用。実績のある14cm CSTドライバをより小型化し、点音源思想を追求しました。また、ミッドレンジとトゥイーターを同軸配置し指向特性を一致させ、音の乱れを排除。さらにトゥイーター振動板は軽量・高剛性のベリリウムをR1TXなどで培った独自開発の蒸着技術を用いて精巧に設計、加工。420Hzから60kHzの広帯域にわたり、安定性に優れた音像定位と自然な音場空間をもたらします。

※CST=Coherent Source Transducerの略語。



伸びのある中低域再生を獲得

ウーファー用振動板としての理想的な振動特性を得るために強度と内部損失を高めたMACC※1振動板と、卓越した駆動リニアリティを実現する磁気回路にLDMC※2を採用した16cmウーファー。アラミド織布と異素材の不織布を個別に成形し後工程で貼合せたMACC振動板により、豊かでリニアリティに優れた低音を再生するとともに、カラーレーションのない素直な中低域の再生を実現します。

※1:MACC=Multi-Layered Aramid Composite Coneの略語。
※2:LDMC=Linear Drive Magnetic Circuitの略語。



自然で豊かな低域を実現

革新的なアプローチにより理想とする音を目指した「Bidirectional ADP※システム」を搭載。エンクロージャーの底部にポートを配置し、開口部を前後ヘレイアウト。そのポート内部をホーン形状とすることで、ポートノイズを低減した効率のよいポート駆動が可能になり、クリアでレスポンスのよい中低音を実現します。また、ポートフレアにはアルミダイキャストを使用するとともに、ポートを前後の対称レイアウトとすることで、エンクロージャーを振動させる力を打ち消し、豊かで力強い低域を再生します。さらに、10mm厚の鋼板削り出しベースプレートを採用することで、安定した設置を可能にし、強力な駆動力を持つウーファーのリアクションをしっかりと受け止めます。

※Bidirectional ADP= Bidirectional Aero-Dynamic Portの略語。

